

学校だより たかみね

平成27年1月9日発行
愛川町立高峰小学校
愛川町三増767番地
新責任 小島一浩(校長)
電話 046-281-0389
FAX 046-281-6151

学校教育目標
ともに学び ひびきあおう
～うごかそう ころとからだ～
1月の児童数 199人 (男子109人 女子90人)

「子どもたちに学ぶ」～折り紙教室 小島真弓さん語る



玄関を飾る「12月編」



1年折り紙教室



玄関を飾る「季節のたより」



干支「羊」作りに真剣!

主に1年生折り紙教室でお世話になっている小島真弓さん。今年度も学期に一度は1年生の折り紙教室で指導をしていただいています。また、ご覧になられた方も多くいでしょうが、玄関には年間を通して四季折々の小島さんの作品を飾らせていただいています。その小島さんがおっしゃいます。

- ・「ああ、こうすればいいんだ、と子どもから学ぶことも本当に多いんですよ。」
- ・「飽きないで完成させる子どもたちはすごいですよ。」
- ・「いやがるかと思いきや、やりたあい、という子どもたち。」
- ・「子どもの発想はすごいです。そんなところに貼っていいの?と思っても、できあがってみれば立派な作品なんです。」
- ・「折り紙はマニュアルがあるようで、ないようで。いい按配に仕上げるセンスも、ちょっと必要です。」
- ・「今もひと月に1回折り紙を習っています。」

1月21日(水) 8:50~12:20 『わくわくモーモースクール』

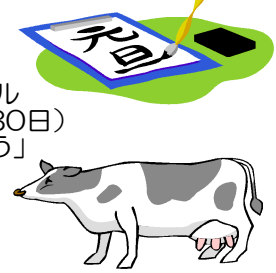
神奈川県酪農組合連合会主催「わくわくモーモースクール」という催しがあります。全校児童が子牛と触れ合ったり、搾乳体験を行ったりします。畜産業の中でも、特に酪農について貴重な体験ができるものと思います。よろしければご来校いただき参観ください。入校は正門1カ所のみ。ここで靴底を消毒してから、児童昇降口にて受付をしてください。駐車場は三増青少年広場のみです。

なお、学級閉鎖等、児童の体調が思わしくない場合は中止することもありますので、ご承知おきください。

詳しくは、8日付け学校からの文書をご覧ください。

1月の行事予定

- 13日(火) 3年4年書き初め大会・給食開始・委員会活動 PTAあいさつ運動
- 14日(水) 5年6年書き初め大会・職場体験(～16日) PTAあいさつ運動 PTA運営委員会19:00
- 15日(木) 書き初め展(～16日)・ノーテレビノーゲームデー・6年租税教室
- 16日(金) 登校指導
- 19日(月) 朝会
- 21日(水) わくわくモーモースクール
- 22日(木) 6年スキー教室(予備日30日) 1年生「年長さんと遊ぼう」
- 23日(金) クラブ活動
- 26日(月) 代表委員会
- 28日(水) 就学児童保護者説明会



2月の行事予定

- 2日(月) 朝会 委員会活動
- 5日(木) 6年薬物乱用防止教室
- 6日(金) クラブ活動(3年見学)
- 9日(月) 給食費引き落とし日

【予告です】※授業参観・懇談会
1・2年 12日(木)
3・4年 19日(木)
5・6年 25日(水)

12月22日(月) 3・4年もちつき大会

「笑い止まらず 磯部餅」

「杵はこう持って えい!!」



3・4年生の児童にとっては、よい体験活動ができました。学年委員さん、本部役員さんをはじめ、保護者の皆様には、田植え→稲刈り→もちつき大会と、一連の米作りに関する活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。感謝申し上げます。

また、この間、ずっと米作り活動を支えてくださった落合貢さんには改めて御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

3学期を迎えて

学校長 小島 一浩



希望に満ちた平成27年がスタートしました。旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、お正月の風物詩でもある箱根駅伝が今年も1月2日、3日に行われました。毎年楽しみにしている方も多いかと思います。私もその一人です。今年、青山学院大学が初の往路、復路、総合優勝と完全優勝を果たしました。タイムも史上最速での優勝を飾りました。5区では、青山学院大学の神野大地選手が、箱根駅伝の中でも最高の難所と言われる山登りで、素晴らしい走りを見せました。襷を受け継いだのは2位。1位の駒澤大学とは、46秒差。神野選手は身長は164cm、体重43kgの体格ながら、山を走るときの大きな腕振りや跳ねるような走り、みるみるうちに駒澤大学を捉え、10キロ過ぎで併走、相手を見るなり、一気に抜き去りその後は、独走。そして、青山学院を往路初優勝に導きました。また、10位までのチームには来年の大会のシード権が与えられますが、そのシード権争いにも数々のドラマがありました。毎年、筋書きの無いドラマが演じられ、数々の感動を与えてくれる箱根駅伝。その背景にあるものは何なのでしょう。

区間賞を取った選手のインタビューの中に「自分の記録より、チームのために」という言葉があります。走ることは個人で行うものです。しかし、襷を受け渡すことで、チームとしての意識を各選手にもたらしています。母校の思いを一つの襷に込め、それぞれの選手が、その襷を受け渡すために、一人ひとりが1年間厳しい練習に取り組み、自分を磨き上げ、その集大成としての箱根駅伝。個人ではない、チームのために途中であきらめず、最後まで己の限界を超えるぐらいの全力で取り組む姿に感動を覚えるのではないかと思います。

愛川町でも、この11日に愛川町一周駅伝競走大会が行われます。今年、第60回の節目の大会です。また、同時に愛川町スポーツ少年団ミニ駅伝競走大会も行われます。それぞれの大会に参加される選手の方のご健闘をお祈りするとともに、素晴らしい感動がありますよう期待しています。

最後に、児童の皆さん一人ひとりも高峰小学校という襷をかけています。その襷を受け継ぐことで、高峰小学校の伝統が受け継がれています。今のよき伝統を更に素晴らしいものとするために、この3学期を全力で取り組み、素晴らしい学校を作り上げて欲しいと思います。我々教職員もこの高峰小学校のために頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。